

# 根浜海岸砂浜再生事業について

岩手県 県土整備部

# 【東日本大震災津波前の根浜海岸】



2006年 釜石市撮影



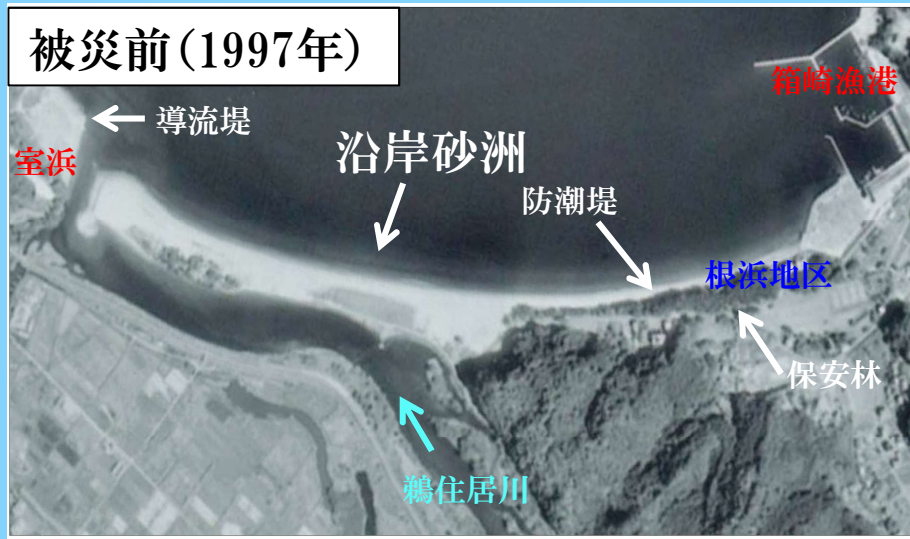
- 被災前には陸中海岸有数の海水浴場として賑わっていました。
- 「日本の白砂青松100選」の一つに選ばれています。

○ 年間入込客数（釜石市調査\_単位:万人）

	H1~21 (平均)	H22	H29
根浜海岸	12.2	7.4	—
釜石市全体	110.9	96.0	50.1

# 【東日本大震災津波による被災状況】

被災前(1997年)



※ 鵜住居川、片岸沢川河口は室浜付近に位置していました。

- 被災前は延長約1.3kmの砂浜が広がっていました。
- 津波と地盤沈下で砂州が消失し、松林の一部も失われました。
- 失われた土砂量は66万m<sup>3</sup><sup>1)</sup>と推定されています。

1) 釜石市「平成25年度釜石市根浜海岸砂浜再生可能性検討業務報告書、平成27年3月」より

被災直後(2011年)



※ 東日本大震災津波により、砂浜が消失し、防潮堤は破堤しました。

2015年

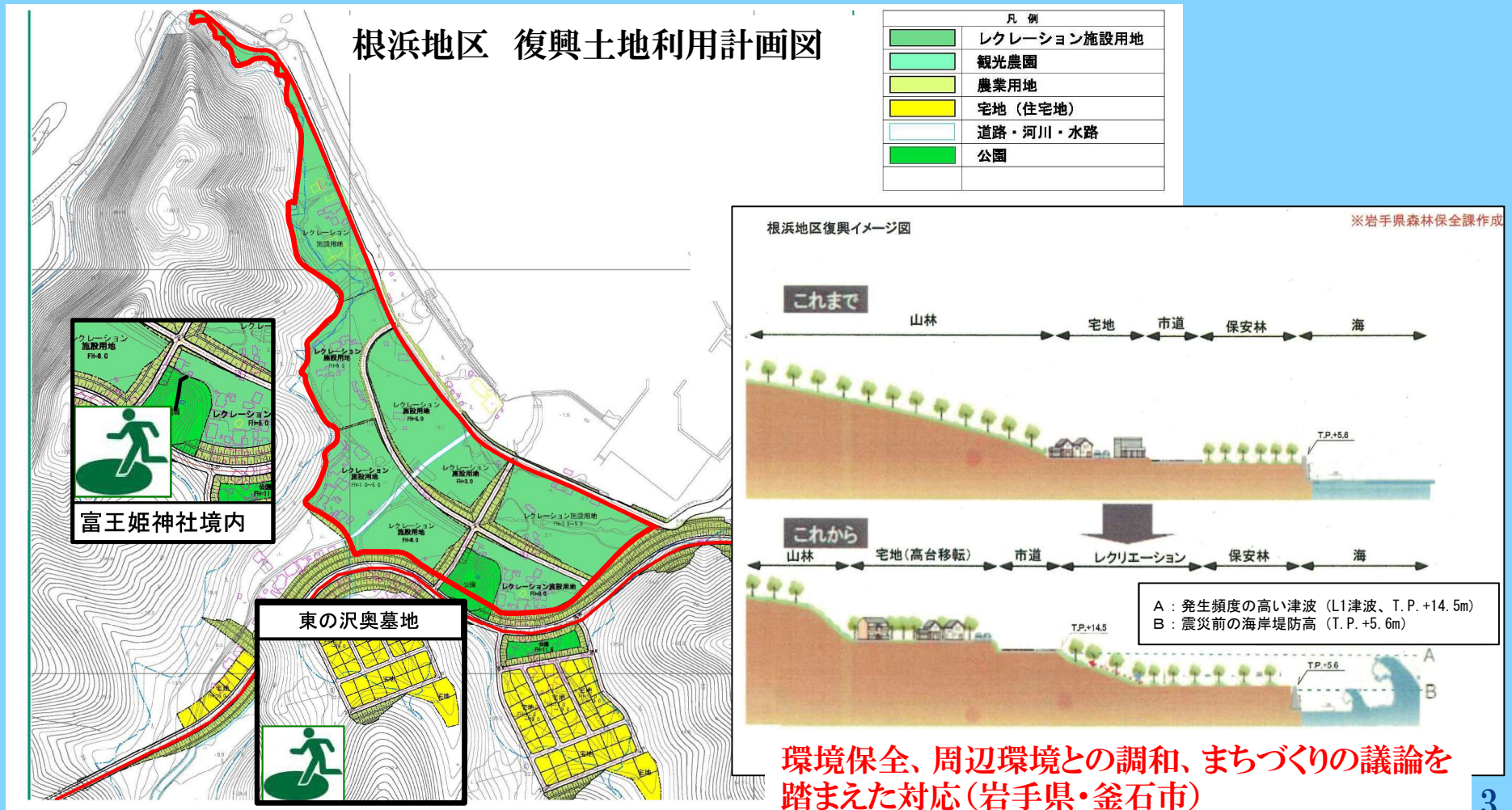


※ 砂浜の一部が自然回復しつつあるが、回復した範囲と量は限られている状況となっています。

# 【根浜地区の復興計画（地域の意見を踏まえた対応）】

地域の意見を踏まえて、堤防は震災前と同じ高さで復旧し、宅地は最大クラスの津波により浸水しない高台へ移転することとしました。

また、堤防の背後地は、環境保全・景観性に配慮しつつ、観光レクリエーション施設として利用することとして、地域と連携したまちづくりを進めてきました。



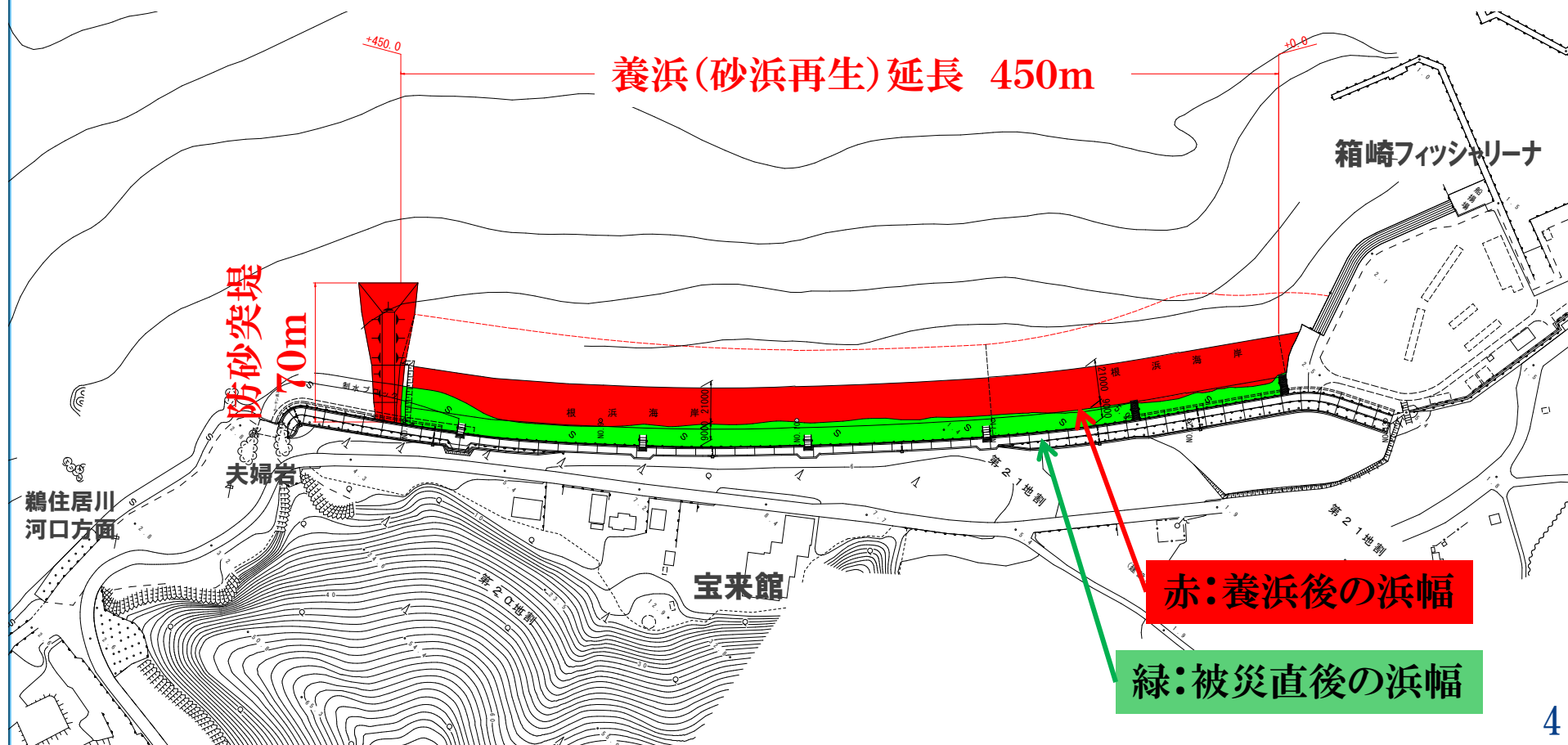
# 【根浜海岸における砂浜再生事業①】

砂浜の自然再生には約360年の時間が見込まれたことから、県では地域からの早期再生の要望も踏まえて、砂浜再生の検討を重ね、平成30年度から令和2年度にかけて**養浜(砂浜再生)**の工事を行いました。

全体事業費 約10億円  
事業期間 平成30年度～令和2年度  
※復興交付金事業(効果促進)

## 【事業概要】

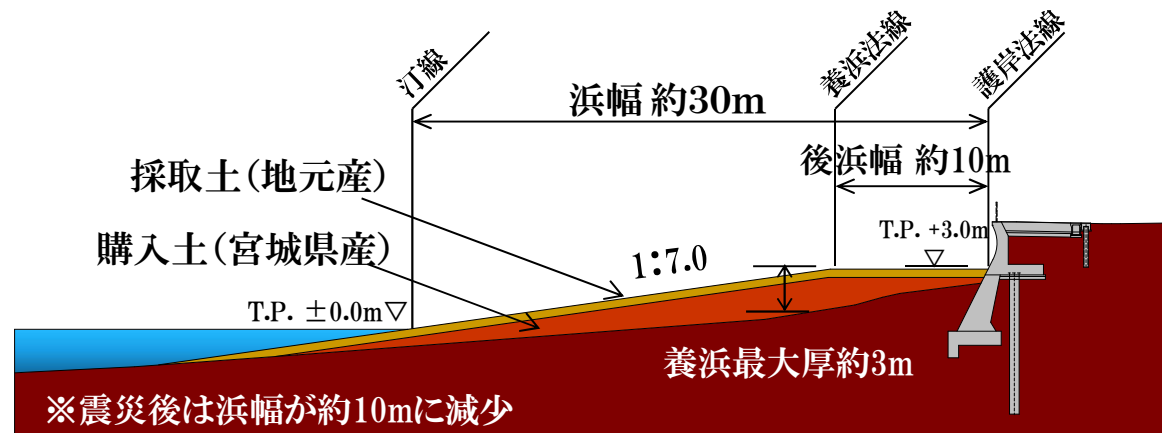
- ・ 養浜延長 450m、防砂突堤1基(延長70m)
- ・ 養浜砂 約4.5万m<sup>3</sup>(産地: 宮城県大和町 約3.1万m<sup>3</sup>、片岸海岸 約1.4万m<sup>3</sup>)



# 【根浜海岸における砂浜再生事業②】

## 【計画断面】

- ・ 前浜勾配 1 : 7.0、後浜高 T.P.+3.0m、後浜幅 約10m、浜幅 約30m



# 【根浜海岸の利用状況①】

令和元年7月に部分完成による一部を開放しました

(海水浴場の開設：令和元年7月20日～8月12日)



令和元年8月12日 岩手県撮影



令和元年8月12日 岩手県撮影

# 【根浜海岸の利用状況②】

令和3年7月に海岸全体完成による海開きを開催しました。

(海水浴場の開設：令和3年7月22日～8月15日)





## 【根浜海岸の管理（釜石市と一体となった取組み）】

観光事業等を目的とした砂浜再生事業の経緯などを踏まえて、海岸管理事務の一部（占用許可、日常管理等）について、令和3年4月1日以降は釜石市が行っています。（岩手県が管理する海岸において初めての事例）

